

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

ヨコスカ Discovery

ディスカバリー

第28回 夏の荒井浜海岸へ

野菜畑と相模湾と富士山を眺めながら、「北尾根入口」から小網代の森を抜けて油壺へ。三浦一族最後の地・新井城跡を経て荒井浜まで、半日のコースです。
(距離約5.5*、所要時間:約2時間)

歩くときの ワンポイントアドバイス

日差しの強い時は紫外線対策と水分補給対策を忘れずに!

荒井浜から油壺バス停までは徒歩10分程度。三崎口駅行きは原則毎時3本運行しています。

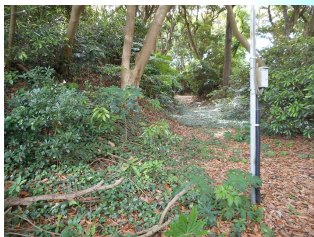
三戸小網代地区整備済畑作地

夏作のスイカ・カボチャ、冬作のダイコン・キャベツを中心に県内有数の露地野菜生産地。



新井城跡

三浦一族の居城跡。戦国時代、北条早雲の包囲により三浦道寸・義同、荒次郎・義意父子が討死して落城。土塁、空堀、平場、御殿跡、高櫓跡が現存している。



三浦道寸・義同(よしあつ)の墓<供養塔>

碑陰に辞世の句『うつものも、うたるものもかわらげよ、くだけてのちは、もとのつちくれ』とある。



三浦義意(よしおき)の墓<供養塔>

ゴール

京急油壺
マリンパーク

荒井浜海岸

油壺バス停

白髭神社

小網代の森

浦の川の水源から河口の干潟まで住宅や舗装路のない首都圏唯一の完結した自然流域。2000種以上からなる生物多様性の宝庫。



東京大学三崎臨海実験所

明治19年(1886年)に三崎町に国内最初の、世界でも最も歴史の古い臨海実験所の一つとして設立され、明治30年(1897年)に油壺に移転。御木本幸吉がここで養殖真珠の共同研究を行った記録も残っている。

田辺大愚の句碑

『外海は荒れみて月の油壺』の句が刻まれている。